

1. 平成25年度の実施事業

(1) 地域公共交通調査事業の実施（地域公共交通総合連携計画の見直し）

- ・公共交通の利用状況や市民のニーズを把握し、都市構造の変化やニーズに対応した市内の公共交通のあり方を検討し、連携計画の見直しに取り組んだ。

(2) 利用環境改善促進等事業の実施

- ・名鉄バスとNーバスにバスロケーションシステムを導入し、バスの待合環境の改善に取り組んだ。

(3) 周知・広報活動としての「かわら版」の作成

- ・長久手市の公共交通について、市民に周知を行うために、市民、利用者目線の広報資料として、かわら版を作成した。

2. 地域公共交通会議の開催

- ・上記の事業の実施に際し、下表のとおり5回の「長久手市地域公共交通会議」を開催し、協議を行いながら進めた。

会議開催日	協議内容
<p><第23回会議> 平成25年 5月30日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度長久手市公共交通会議事業報告及び決算(案)について ・地域公共交通調査事業について ・生活交通ネットワーク計画(案)について ・利用環境改善促進事業について ・周知広報事業（のりゃあせ）について ・地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について ・市内公共交通の平成24年度、25年度4月の実績について ・長久手市広報でのお知らせ
<p><第24回会議> 平成25年 8月29日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する調査の実施について ・周知広報事業（のりゃあせ）について ・平成24年度地域公共交通確保維持改善事業の第三者評価委員会結果報告について ・市内公共交通の平成25年度5月以降の実績について
<p><第25回会議> 平成25年11月27日(水)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査事業の国庫補助金の交付決定及び平成25年度補正予算案について ・公共交通調査結果概要及び総合連携計画の骨子について ・愛知医科大学発着の路線バスについて ・周知広報事業「のりゃあせ」について ・地域協働推進事業について ・市内公共交通の平成25年度8月以降の実績について
<p><第26回会議> 平成26年 2月20日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長久手市第2次地域公共交通総合連携計画案について ・周知広報事業「のりゃあせ」について ・地域公共交通確保維持改善事業（調査事業）の事業評価について ・市内公共交通の平成25年11月以降の実績について
<p><第27回会議> 平成26年 3月27日(木)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度予算案及び事業概要案について ・長久手市第2次地域公共交通総合連携計画案について ・周知広報事業「のりゃあせ」について ・地域公共交通確保維持改善事業（調査事業）の二次評価結果について

3. 実施事業の概要

(1) 地域公共交通調査事業の実施（地域公共交通総合連携計画の見直し）

① 住民アンケート調査の実施

- ・市民の公共交通利用状況、公共交通に関する意識等を把握するため、住民アンケート調査を実施した。市民4,000人を無作為に抽出してアンケート調査票を郵送配布し、1,415名（回収率：35.4%）の回答が得られた。

② ニーズの把握と課題の整理

- ・アンケート調査結果に基づいて公共交通に関するニーズを把握し、連携計画の取組み課題、公共交通機関ごとの課題、各種整備計画等との連携や、高齢化に備えた対応などの視点を変えて課題を整理した。

③ 連携計画の見直し

- ・ニーズの課題の整理結果と、第1次の連携計画での取組や評価を踏まえて、新たに将来像、目標、基本方針、計画事業等を整理して、「第2次地域公共交通総合連携計画(案)」を整理し、パブリックコメントを平成26年4月7日～5月7日の1ヶ月間実施した。

(2) 利用環境改善促進等事業の実施

- ・名鉄バス(株)が主体となって、名鉄バスの名古屋営業所管内とNーバスにバスロケーションシステムの導入を行った。

【事業概要】

- ・車載器：96両（名鉄バス車両：83両、Nーバス車両：5両、くるりんばす車両：8両）
- ・停留所案内表示器：栄（両方面）、矢場町（名鉄バスセンター方面のみ）
- ・その他：営業所端末、ソフトウェアの開発及び改修等

【運用開始】

- ・平成26年3月1日から、運用を開始した。

(3) 周知・広報活動としての「かわら版」の作成

- ・平成24年度に長久手市として初めての取り組みを継続し、第2号と第3号の合計2回の発行を行った。
- ・2名の市民協力者の方に、作成の協力をいただいた。
- ・市民協力者が主体となって取材・執筆活動を行い、事務局が原稿作成、印刷を支援する形で作成を進めた。
- ・かわら版作成前の段階で、テーマの調整を行い、取材活動を開始していただいた。

【テーマ】

- ・市民協力者の方とテーマの調整を行い、それぞれ以下のテーマで記事を作成していただいた。

第2号のテーマ

- 63歳男性の方：Nーバス開始15周年
- 63歳女性の方：名鉄バス名古屋営業所（長久手車庫）見学記

第3号のテーマ

- 63歳男性の方：リニモウォーキングに参加して
- 63歳女性の方：リニモ車両基地見学会に行ってきた

【原稿の作成】

- ・かわら版のサイズはA3サイズの両面印刷とし、2名の市民協力者の方の記事はA4サイズの1枚分程度に収めるように作成した。
- ・作成途中の段階で、市民協力者の方に原稿案を確認していただき、適宜修正を行いながら作成を進めた。
- ・最終的な原稿案に基づいて地域公共交通会議にて意見を伺って修正を行い、最終原稿とした。

【発行】

- ・発行1回あたりで3,000部印刷し、自治会回覧用に1,100部、市内主要施設用に1,900部の配布を行った。
- ・配布と併せて、広報紙で周知を行ったほか、市のホームページでも閲覧できるようにデータの添付を行った。
- ・また、かわら版の作成は平成26年度も継続することとし、市のホームページや広報紙において改めて市民協力者の募集を行った。